

別添1

厚生労働科学研究研究費補助金

第3次対がん総合戦略研究事業

その他、がんの実態把握とがん情報発信に関する特に重要な研究  
-Japanese National Cancer Database (JNCDB)の構築-

平成16年度 総括・分担研究報告書

主任研究者 手島 昭樹

平成17(2005)年 3月

## 別添2

## 目 次

A. 平成16年度研究報告書（第1部）	1/3 冊
I. 総括研究報告	
その他、がんの実態把握とがん情報発信に関する特に重要な研究 -----	1
手島 昭樹	
（資料）地域がん拠点病院におけるHIS、RISの現状並びに接続状況調査アンケート結果	
II. 分担研究報告（研究者別）	
1. 乳癌JNCDB、画像DB、他科DBとの調整に関する研究 -----	7
光森 通英	
2. 食道癌、肺癌JNCDBに関する研究 -----	10
宇野 隆	
3. 前立腺癌JNCDBに関する研究 -----	11
中村 和正	
4. 肺癌JNCDBに関する研究 -----	13
角 美奈子	
5. 子宮頸癌JNCDB、日米比較に関する研究 -----	16
戸板 孝文	
6. 食道癌JNCDBに関する研究 -----	17
権丈 雅浩	
7. 前立腺癌JNCDBに関する研究 -----	19
小川 和彦	
8. 乳癌JNCDB、日米比較Bに関する研究 -----	21
鹿間 直人	
9. 画像DB、オンライン化技術開発、個人情報関連基盤Bに関する研究 ---	22
大西 洋	
10. 食道癌JNCDBに関する研究 -----	23
小口 正彦	
11. JNCDB日米比較、国際比較、構造調査に関する研究 -----	26
立崎 英夫	
12. JNCDB統計解析、住民票照会、個人情報関連基盤に関する研究 -----	28
大野 ゆう子	
13. JNCDB技術開発、オンライン化技術開発に関する研究 -----	30
原内 一	
14. JNCDB、がんセンター情報部門との研究整合性調整に関する研究 -----	31
池田 恢	
III. 研究成果の刊行に関する一覧表 -----	34
IV. 研究成果の刊行物・別刷 (別冊)	2/3冊
B. 平成16年度研究報告書（第2部）	3/3冊
「がんの集学治療における放射線腫瘍学-医療実態調査研究に基づく放射線治療の品質確保に必要とされる基準構造-」（別冊）	

厚生労働科学研究研究費補助金

第 3 次対がん総合戦略研究事業

その他、がんの実態把握とがん情報発信に関する特に重要な研究  
-Japanese National Cancer Database (JNCDB)の構築-

平成 1 6 年度 総括研究報告書

主任研究者 手島 昭樹

平成 1 7 (2005) 年 3 月

厚生労働科学研究費補助金（第3次対がん総合戦略研究事業）

総括研究報告書

「その他、がんの実態把握とがん情報の発信に関する特に重要な研究」(H16-3次がん-039)

-Japanese National Cancer Database(JNCDB)の構築-

(主任研究者) 手島 昭樹 大阪大学大学院医学系研究科教授

研究要旨 治療情報を充実させた Japanese National Cancer Database(JNCDB)を構築する。  
1) 臓器別がん登録グループ(前立腺、食道、子宮頸部、乳腺、肺癌)、厚生労働省がん研究助成金総合研究班(15-1)山崎班と情報共有化のための意見交換と技術開発を進めた。2) 地域がん診療拠点病院の電子カルテ、病院情報システム HIS、放射線情報システム RIS との接続状況を調査した。3) 米国 National Cancer Database (NCDB) のデータセンターである American College of Surgeon(ACoS)を視察・情報交換を行った。4) JNCDBのプロトタイプを日本版 Patterns of Care Study(JPCS)の乳癌、前立腺癌、食道癌、子宮頸癌、肺癌データベースと集積情報をもとに各臓器別がん登録グループの実務担当者との議論を経て200項目以下に絞り込み Web based database として完成した。

分担研究者氏名・所属機関名及び所属機関における職名

光森 通英	京都大学大学院	講師
宇野 隆	千葉大学大学院	助教授
中村 和正	九州大学附属病院	講師
角 美奈子	国立がんセンター	医長
戸板 孝文	琉球大学	助教授
権丈 雅浩	広島大学大学院	助手
小川 和彦	琉球大学附属病院	講師
鹿間 直人	信州大学附属病院	助教授
大西 洋	山梨大学医学部	助教授
小口 正彦	癌研究会附属病院	副部長
立崎 英夫	放射線医学総合研究所	室長
大野 ゆう子	大阪大学大学院	教授
原内 一	大阪大学大学院	助手
池田 恢	国立がんセンター	部長

A. 研究目的

がん臨床の現場で有用性の高い治療過程、構造情報を充実させた JNCDB を構築し、既存の臓器別がん登録との情報共有による入力作業重複回避法を開発する。また地域がん診療拠点病院における院内癌登録整備作業を支援する。地域がん登録の追跡情報を

効率的に JNCDB に利用できるよう環境整備を行う。

B. 研究方法

- 1) 臓器別癌登録グループ、助成金総合研究(15-1)山崎班との情報共有のために個人情報部分の不可逆匿名化の技術開発を臓器別がん登録と JNCDB で共同開発し、標準化する。
- 2) 各臓器別がん登録実務担当者や責任者との議論を経て JNCDB プロトタイプを乳癌、前立腺癌、食道癌、子宮頸癌、肺癌について約 200 調査項目を策定し開発する。
- 3) 米国 NCDB を視察・情報交換する。
- 4) 地域がん診療拠点病院の電子カルテ、病院情報システム HIS、放射線情報システム RIS との接続状況を調査する。

C. 研究結果

- 1) ハッシュ化(一方難読化)により情報

共有の照合を技術的に可能にした。患者の姓、名、住所、生年月日、カルテ番号などをハッシュ化することでデータベース内に復号できる患者 ID は存在しないようにした。

2) 調査項目絞り込みを行い、最終調整中である。

乳癌 JNCDB：がん研究助成金「手島班」で行ってきた全国実態調査(JPCS)に用いた乳癌診療データの項目と日本乳癌学会全国調査のデータの摺り合わせを図り、調査項目の選出を行うため、乳癌学会データベース管理担当者との細部にわたる打ち合わせを行った。データベースの入力インターフェースについては IT 部門の分担研究者との話し合いにより、直感的かつ曖昧さを排除したものとした。また、JPCS で得たデータをもとにした入力時のデータチェックや取り扱い規約などのヘルプ機能も充実させた。

食道癌 JNCDB：JNCDB に必要な基礎項目を、放射線治療を受けた食道がん患者の JPCS の資料を検討することにより選択した。また共同研究する予定の食道がん学会の全国登録フォーマットのデータ登録項目を包含するものとした。また個人情報保護法の施行を前提としつつ追加すべき調査項目を選定した。選定にあたっては食道学会の全国登録委員に参画を得て WEB で登録可能な選択肢を選定し、入力フォーマットの試験運用版を完成させた。

子宮頸癌 JNCDB：NCI-PDQ, NCCN, ABS 等のガイドラインの診療アルゴリズム分岐点を追跡できる調査項目(約 200 項目)の DB を完成した。

肺癌 JNCDB：日本肺癌学会・日本呼吸器外

科学会の肺癌登録に関する合同委員会担当責任者に意見を聞き、項目を調整してきた。

前立腺癌 JNCDB：既に米国で実施されている、前立腺癌データベース(米国 Patterns of Care Study, CaPSURE, SEER Data Base, National Cancer Data Base など)について文献調査をおこなった。同時に、日本泌尿器科学会前立腺癌全国登録プログラムの項目を調査し、放射線治療主体の JPCS で使用した調査項目と比較検討し、泌尿器科学会の前立腺癌登録実務担当者および責任者と討論し、調査項目を 200 項目程度に絞った。

3) 米国 NCDB はがん登録が法制化され、腫瘍登録士が多く、院内がん登録ベンダーが NCDB 用に成型を行い、シーケンシャル・テキスト・ファイルで提出可能にしていた。法的根拠をもとに人的資源、コストを注入し全米で 80%以上のがん患者のデータを集積するシステム、集積されたデータの質的管理、質の高いデータをもとにした大規模な臨床的疫学研究の実態、各施設における臨床プログラムの実践と施設 certification にもとづく患者集積などについてきわめて重要な情報を得た。

4) 地域がん拠点病院において電子カルテが 15%、HIS と RIS 等の他のモダリティは 60%前後の導入率であった。モダリティ間では電子カルテとの連結率が低い。その連結時のデータプロトコルはメーカー独自の書式・規格を採用している場合が多かった。これらの規格制約により複数施設間情報統合は現状では困難であった(詳細資料)。

(倫理面への配慮)

1) Retrospective症例群：個人情報を残す

場合、「疫学研究に関する倫理指針」の対象となるが、免除規定の適用が想定される。当面はデータセンター送付前に各施設でハッシュ化（一方向難読化）により個人情報部分を完全匿名化するので、倫理面での問題は無い。データ管理のsecurityはデータセンター、調査者等すべてのレベルで強固にする。

2) Prospective症例群：個人情報を残す場合、「臨床研究に関する倫理指針」の対象となりInformed consentを取ることを前提とするが、当面上記同様ハッシュ化するので問題とならない。securityは上記同様厳しいものとする。

個人情報保護義務規定は、①利用目的の特定〔目的外利用の原則禁止〕、②本人の同意を得ずに第三者に情報を提供することの原則禁止、③適正・安全な情報管理、④本人からの求めに応じた開示、などである。臨床医療現場において、まだ電子カルテベースでの個人情報保護の取扱は医療者には暗中模索状態といえる。JNCDBでは個人情報部分はハッシュ化により収集しないが、残りの情報についての各種データベース間の共有化の妥当性については不透明な部分があるが、公益性は極めて高いものと結論される。

#### D. 考察

院内がん登録データを真に生かし各施設の診療の質を向上させるには治療（過程）情報の充実と人員・装備（構造）情報が必須である。結果評価は地域がん登録との共有が必要である。JNCDBは上記要求を満たし各種がん登録間の入力作業重複を回避し、臨床現場により有用な情報を還元する。わ

が国の電子カルテ/HIS/RIS 接合は早急な改善を要する。

JPCSのような訪問調査では訓練を受けた医師が集中的にデータ収集を行うため、ある程度データ項目数が多くても質の高いデータの蓄積が可能であった。しかし、JNCDBでは診療に携わる医師が実臨床の中でデータ入力を行うことを想定しているため、データ入力の負荷により診療が滞るようでは運用が成り立たない。治療プロセスを正確に反映しつつ、可能な限りデータ項目を減らすように議論を重ねた。また、ヘルプ機能は経験の浅い医師に対する教育効果があり、入力作業のインセンティブになることが期待された。

本邦ではがん登録、アウトカム調査などに法的根拠がない。法律を整備し、人的資源を投入することが、普遍的がん登録システム確立には不可欠である。

各種がん登録間の情報共有がJNCDBの最大の利点である。専門分野を超えたがん登録情報の共有により、入力作業重複化を回避し広い視野からデータを分析。地域・院内がん登録では特定できない詳細な治療の質（過程）や装備や人員（構造）問題を分析できる。これにより各施設の診療の質をモニタでき、改善すべき点を臨床医にわかりやすい形で具体的に特定できる。

病院情報システムへの装填が将来想定される。JNCDBをHISや電子カルテに組み込むことによりコスト低減を図り、幅広い詳細な情報をすべてのがん診療施設から集積できる可能性が大きい。しかし現状はHIS、RIS、電子カルテ間の接続状況に問題があるので数社の開発企業に早急に改善させることが必要である。

E. 結論

JNCDB 開発と運用によりわが国のがん診療の実態が正確に把握され、診療の質向上の方向性を具体的に示す事が可能となる。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

Nakamura K, Teshima T, et al.

Radiotherapy for localized hormone-refractory prostate cancer in Japan. *Anticancer Research* 24: 3141-46, 2004.

Ogata Y, Teshima T, et al. Particle irradiation suppresses metastatic potential of cancer cells. *Cancer Research* 65(1): 113-20, 2005.

Okumura S, Mitsumori M, et al. Feasibility of breast-conserving therapy for macroscopically multiple ipsilateral breast cancer. *Int J Radiat Oncol Biol Phys.* (59) 1 146-151. 2004

Li G, Mitsumori M, et al. Local hyperthermia combined with external irradiation for regional recurrent breast carcinoma. *Int J Clin Oncol.* (9) 3 179-183. 2004

Mitsumori M, Teshima T, et al. The Patterns of Care Study for breast-conserving therapy in Japan: Analysis of process survey from 1995 to 1997. *Int J Radiat Oncol Biol Phys.* (in press)

Yamauchi C, Mitsumori M, et al.

Bilateral breast-conserving therapy for bilateral breast cancer : Results and consideration of radiation technique. *Breast Cancer* (in press)

光森通英. 特集：化学放射線療法の現況ならびに対象症例の選択 乳癌に対する化学放射線療法の現況. *癌の臨床.* (50) 2 141-145. 2004

光森通英. 乳癌初回治療における放射線治療—ガイドラインと主治医の裁量. *臨床外科.* (59) 9 1159-1163. 2004

光森通英. 87. 術後の放射線治療——適応と実際 (光森通英). 伊東良則, 戸井雅和編. 別冊・医学のあゆみ 乳腺疾患—state of arts: 医歯薬出版; 2004. pp. 319-322.

山内智香子, 光森通英, 平岡眞寛. 【コンセンサス 乳癌の治療】 原発性乳癌の手術 乳房温存療法における照射の必要性. *コンセンサス癌治療.* (3) 1 16-17. 2004

Nakamura K, Teshima T, et al.

Radiotherapy for localized hormone-refractory prostate cancer in Japan. *Anticancer Res.* 24(5B):3141-5, 2004

Sasaki T, Nakamura K, et al. Efficacy of modest dose irradiation in combination with long-term endocrinal treatment for high-risk prostate cancer: A preliminary report. *Jpn J Clin Oncol.* 34(7): 420-4, 2004.

Ogawa K, Nakamura K, Teshima T, et al. Radical external beam radiotherapy for prostate cancer in Japan: Preliminary results of the changing trends in the Patterns of Care Process Survey between

- 1996-1998 and 1999-2001. *Jpn. J. Clin. Oncol.* 34(3): 131-136, 2004
- Ogawa K, Nakamura K, Teshima T, et al. Radical external beam radiotherapy for prostate cancer in Japan: Preliminary results of the 1999-2001 Patterns of Care Process Survey. *Jpn. J. Clin. Oncol.* 34: 29-36, 2004.
- Sekine I, Sumi M, et al. Phase I study of cisplatin, vinorelbine, and concurrent thoracic radiotherapy for unresectable stage III non-small cell lung cancer. *Cancer Sci.* 95: 691-695, 2004.
- Toita T, Nakamura K, Teshima T, et al. Postoperative radiotherapy for uterine cervical cancer: results of the 1995-1997 patterns of care process survey in Japan. *Jpn J Clin Oncol.* 2004; 34:99-103.
- Toita T, Nakamura K, Teshima T, et al. Radiotherapy for uterine cervical cancer: results of the 1995-1997 patterns of care process survey in Japan. *Jpn J Clin Oncol.* 2005; 35: 139-148.
- Yoshimoto M, Oguchi M, Improvement in the prognosis of Japanese breast cancer patients from 1946 to 2001 - an Institutional review. *Jpn J Clin. Oncol* 34(8):457-462, 2004
- Shibamoto Y, Oguchi M, Primary central nervous system lymphoma in Japan 1995-1999 changes from the preceding 10 years. *J Cancer Res Clin Oncol* 130:351-356, 2004
- 小口正彦: 頭頸部領域の悪性リンパ腫の治療: 総論ならびに放射線療法. *頭頸部癌* 30(3):347-350, 2004
- 小口正彦: 悪性リンパ腫の放射線治療. *日独医報* 49(2): 82-100, 2004
- 大野ゆう子、他 焦点 看護・医療の研究におけるタイムスタディ 看護研究 34(4) 3-58, 2004
- Okusaka, T, Ikeda, H, et al.: Phase II study of radiotherapy combined with gemcitabine for locally advanced pancreatic cancer. *Brit J Cancer* 91:673-677, 2004
- 新保宗史、池田 恆、他: 外部照射 (X線) 治療の線量に関する品質保証 (QA) についてのアンケート調査結果 (1) - 1 *日放腫会誌* 16: 111-119, 2004
- 池田 恆: 放射線治療の歴史と展望 *JOHNS* 20:145-48, 2004
- 池田 恆: わが国の放射線治療の現況と展望 *医療* 58: 284-288, 2004
- 池田 恆、他: 放射線治療システムの品質保証・品質管理 *映像情報メディカル* 36:1352-1356, 2004
- 池田 恆: 第2章 癌の疫学と放射線腫瘍学、第3章 造血器腫瘍 *放射線治療学* 改訂2版 pp.13-22, 376-398 南山堂2004.
- 池田 恆: 10章-II 腫瘍学と放射線生物学、11章-V 全身照射 立入弘、稲邑清也他編 「診療放射線技術」改訂第11版下巻 pp. 5-18, 122-124. 南江堂2004.
- 小口正彦、池田 恆、他: ホジキンリンパ腫以外 *放射線治療計画ガイドライン*2004. 日本放射線腫瘍学会2004.
2. 学会発表
- Mitsumori M, Teshima T, et al. Patterns of Care Study of breast conserving therapy in Japan: Comparison of the



treatment process between 1995-1997 and 1999-2001. *46<sup>th</sup> ASTRO*, October 3-7, 2004. Atlanta, GA, USA.

Sumi M, Ikeda H, Teshima T, et al. The Patterns of Care Study for non-small cell lung cancer treated with radiation therapy in Japan: Analysis of age. *46<sup>th</sup> ASTRO*, October 3-7, 2004 Atlanta, GA, USA

光森通英、他. 乳房温存療法の Patterns of Care Study: 1995-1997 年と 1999-2001 年の比較 日本乳癌学会総会 2004

古平毅, 宇野隆, 戸板孝文, 手島昭樹、他. 子宮頸癌放射線治療例 (non-surgery) における PCS 99-01 の解析結果. *日本放射線腫瘍学会第 16 回学術大会*, 千葉市, 2004. 11.

Kenjo M., Uno T., Oguchi M., Teshima T., et al., Radiation therapy for elderly esophageal cancer patients; results of the patterns of care study in Japan. *46<sup>th</sup> ASTRO*, October 3-7, 2004 Atlanta, GA, USA

Murakami Y., Kenjo M., et al., Long-term outcomes of radiation therapy alone for stage I esophageal cancer. *46<sup>th</sup> ASTRO*, October 3-7, 2004 Atlanta, GA, USA

Kenjo M., Uno T., Oguchi M., Teshima T., et al., National practice of radiation therapy for esophageal cancer in Japan: Preliminary results of Patterns of Care Study (1999-2001). *ASCO*,

*Gastrointestinal Cancer Symposium*, San Francisco, CA, USA, 2004. 1

権丈雅浩、宇野隆、小口正彦、手島昭樹、他、食道癌放射線治療例における高齢者の診療

過程の特徴. *第 58 回日本食道学会*, 東京, 2004. 6

権丈雅浩、宇野隆、小口正彦、手島昭樹、他、食道癌に対する化学放射線療法の施行状況 - 医療実態調査研究に基づく報告, *日本放射線腫瘍学会第 16 回学術大会*, 千葉市, 2004. 11

村上祐司、権丈雅浩、宇野隆、小口正彦、手島昭樹、他、Patterns of Care Study による食道表在癌に対する放射線療法の現況, *日本放射線腫瘍学会第 16 回学術大会*, 千葉市, 2004. 11

小川和彦、中村和正、大西洋、手島昭樹、他、医療実態調査研究 (1999-2001 PCS) による前立腺癌根治的放射線治療の現状。 *日本放射線腫瘍学会第 16 回学術大会*, 千葉市, 2004. 11

Shikama N, Mitsumori M, Teshima T, et al. Patterns of Care Study: Comparison of process of post-mastectomy radiotherapy in two surveys in Japan and that in USA. *46<sup>th</sup> ASTRO*, October 3-7, 2004 Atlanta, GA, USA

池田 板: 過小照射 2 件の報告 シンポジウム「放射線治療事故を今後はどう生かすか」 *日本放射線腫瘍学会第 16 回学術大会*, 千葉市, 2004. 11

H. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)  
なし

平成 17 年 1 月 26 日

XXXXXXXXXX 病院

放射線科（放射線治療） 科長先生 ご机下

厚生科学研究費補助金第 3 次対がん 10 ヶ年総合戦略研究事業  
「がんの実態把握とがん情報の発信に関する特に重要な研究」  
(H16-3 次がん-039) 主任研究者 手島 昭樹

RE: 地域がん拠点病院（候補）における HIS, RIS の現状並びに接続状況調査のご依頼

謹啓

大寒の候、貴下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて国の「がん医療均てん化」施策の一環として貴施設を含む地域がん拠点病院（候補）において院内がん登録をより充実させることが計画されています。放射線科、放射線治療部門は重要な情報提供源となります。私共の研究班では、データ入力作業を軽減させるため、既存の HIS, RIS に院内がん登録フォーマットを装填し、労力の重複を避けるための、研究と技術開発を行っております。現状では HIS と RIS の開発企業が多くの場合で異なっていますので、大規模施設においても接続が難しい状況が続いています。より良いサービスを患者に提供するためには早急に現状を改善させる必要性に迫られております。

本研究班では地域がん拠点病院における HIS、RIS 整備の現況を調査させていただき、米国を含む諸外国の状況と定量的に比較し、国や企業に改善と対策を強く求めて参りたいと考えています。先生におかれましては、ご多忙中、誠に恐縮ですが、同封のアンケートにご回答いただき、2月11日（金）（消印有効）までにご返送いただきますようお願い申し上げます。尚、データは大切に保管し、施設名情報の守秘性は研究班として厳守しますことをお約束いたします。また年度内に解析結果を先生宛てにご報告いたします。

何卒、上記趣旨をご理解くださり、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

謹白

連絡先) 〒565-0871 吹田市山田丘 1 - 7

大阪大学大学院医学系研究科医用物理工学講座

TEL & FAX 06-6879-2570, -2579, -2575

e-mail: [teshima@sahs.med.osaka-u.ac.jp](mailto:teshima@sahs.med.osaka-u.ac.jp) または

[harauchi@sahs.med.osaka-u.ac.jp](mailto:harauchi@sahs.med.osaka-u.ac.jp) (技術的細部お問い合わせ先)

## 地域がん拠点病院がん登録設備状況調査

以下の設問にお答え下さい。

【第1問】 貴施設名 ( )  
回答者ご芳名 ( )  
貴施設住所 (〒 )  
電話番号 ( )

【第2問】 貴施設では電子カルテは導入されていますか？  
( はい、導入予定、検討中、予定はない )  
もし、すでに電子カルテが導入されている場合、どちらのメーカーですか？  
企業名 ( )  
製品名 ( )

【第3問】 貴施設では HIS(病院情報システム)は導入されていますか？  
( はい、導入予定、検討中、予定はない )  
もし、すでに HIS が導入されている場合、どちらのメーカーですか？  
企業名 ( )  
製品名 ( )

【第4問】 貴施設では RIS(放射線情報システム)は導入されていますか？  
( はい、導入予定、検討中、予定はない )  
もし、すでに RIS が導入されている場合、どちらのメーカーですか？  
企業名 ( )  
製品名 ( )

【第5問】 貴施設では院内がん登録を実施していますか？  
( はい、実施予定、検討中、予定はない )  
もし、すでに院内がん登録を実施している場合、その書式は何に準拠して  
いますか？  
( 学会型 [ ]、  
地域がん登録型 [ ]、  
院内独自 [ ]、  
その他 [ ] )

2枚目につづく

【第6問】貴施設では放射線科内で放射線治療病歴記録を運用していますか？

( はい、運用予定、検討中、予定はない )

もし、すでに放射線治療病歴記録を運用している場合、その書式は何に準拠していますか？

( 学会型	[	]
地域がん登録型	[	]
院内独自	[	]
その他	[	]

【第7問】第2問で電子カルテを既に導入していると回答された施設の方に伺います。

- ・ HIS とのデータ授受は可能ですか？ 適当なものに○をつけてください。  
( HIS はない、可能 (標準規格 XML で)、可能 (標準規格 HL7 で)、  
可能 (標準規格 (その他 ) で)、可能 (メーカー独自の規格で)  
不可能 (メーカー独自の規格のため)、不可能 ((その他 ) の理由で)
- ・ RIS とのデータ授受は可能ですか？ 適当なものに○をつけてください。  
( RIS はない、可能 (標準規格 XML で)、可能 (標準規格 HL7 で)、  
可能 (標準規格 (その他 ) で)、可能 (メーカー独自の規格で)  
不可能 (メーカー独自の規格のため)、不可能 ((その他 ) の理由で)
- ・ 院内がん登録とのデータ授受は可能ですか？ 適当なものに○をつけて下さい。  
( 院内がん登録はない、可能 (標準規格 XML で)、可能 (標準規格 HL7 で)、  
可能 (標準規格 (その他 ) で)、可能 (メーカー独自の規格で)  
不可能 (メーカー独自の規格のため)、不可能 ((その他 ) の理由で)
- ・ 放射線治療病歴記録とのデータ授受は可能ですか？  
適当なものに○をつけて下さい。  
( 放射線治療病歴記録はない、可能 (標準規格 XML で)、  
可能 (標準規格 HL7 で)、可能 (標準規格 (その他 ) で、)  
可能 (メーカー独自の規格で)  
不可能 (メーカー独自の規格のため)、不可能 ((その他 ) の理由で)

【第8問】第3問で HIS を既に導入していると回答された施設の方に伺います。

- ・ RIS とのデータ授受は可能ですか？ 適当なものに○をつけてください。  
( RIS はない、可能 (標準規格 XML で)、可能 (標準規格 HL7 で)、  
可能 (標準規格 (その他 ) で)、可能 (メーカー独自の規格で)  
不可能 (メーカー独自の規格のため)、不可能 ((その他 ) の理由で)

3 枚目につづく

【第8問】 のつづき

- ・ 院内がん登録とのデータ授受は可能ですか？ 適当なものに○をつけて下さい。  
( 院内がん登録はない、可能 (標準規格 XML で)、可能 (標準規格 HL7 で)、  
可能 (標準規格 (その他 ) で)、可能 (メーカー独自の規格で)  
不可能 (メーカー独自の規格のため)、不可能 ((その他 ) の理由で))
- ・ 放射線治療病歴記録とのデータ授受は可能ですか？  
適当なものに○をつけて下さい。  
( 放射線治療病歴記録はない、可能 (標準規格 XML で)、  
可能 (標準規格 HL7 で)、可能 (標準規格 (その他 ) で、)  
可能 (メーカー独自の規格で)  
不可能 (メーカー独自の規格のため)、不可能 ((その他 ) の理由で))

【第9問】 第4問で RIS を既に導入していると回答された施設の方に伺います。

- ・ 院内がん登録とのデータ授受は可能ですか？ 適当なものに○をつけて下さい。  
( 院内がん登録はない、可能 (標準規格 XML で)、可能 (標準規格 HL7 で)、  
可能 (標準規格 (その他 ) で)、可能 (メーカー独自の規格で)  
不可能 (メーカー独自の規格のため)、不可能 ((その他 ) の理由で))
- ・ 放射線治療病歴記録とのデータ授受は可能ですか？  
適当なものに○をつけて下さい。  
( 放射線治療病歴記録はない、可能 (標準規格 XML で)、  
可能 (標準規格 HL7 で)、可能 (標準規格 (その他 ) で、)  
可能 (メーカー独自の規格で)  
不可能 (メーカー独自の規格のため)、不可能 ((その他 ) の理由で))

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

地域がん診療拠点病院指定一覧表

平成17年1月21日作成

施設名	所属	科	施設住所	施設電話	備考
1 独立行政法人 国立病院機構 北海道がんセンター	放射線科 科長 殿		札幌市白石区菊水4条2丁目3番54号		
2 市立札幌病院	放射線科 科長 殿		札幌市中央区北11条西13丁目1-1		
3 砂川市立病院	放射線科 科長 殿		砂川市西4条2丁目1-1		
4 王子総合病院	放射線科 科長 殿		苫小牧市若草町3丁目4-8		
5 総合病院北見赤十字病院	放射線科 科長 殿		北見市北6条東2丁目		
6 J A 北海道厚生連 帯広厚生病院	放射線科 科長 殿		帯広市西6条南8丁目1		
7 J A 北海道厚生連 旭川厚生病院	放射線科 科長 殿		旭川市一条通24-111-3		
8 市立釧路総合病院	放射線科 科長 殿		釧路市春湖台1-12		
9 八戸市立市民病院	放射線科 科長 殿		八戸市大字田向字毘沙門平1		
10 青森県立中央病院	放射線科 科長 殿		青森市東造道2丁目1-1		
11 岩手県立中央病院	放射線科 科長 殿		岩手県盛岡市上田1-4-1		
12 宮城県立がんセンター	放射線科 科長 殿		宮城県名取市愛鳴塩手字野田山47-1		
13 独立行政法人労働者健康福祉機構 東北労災病院	放射線科 科長 殿		宮城県仙台市青葉区台原4-3-21		
14 古川市立病院	放射線科 科長 殿		宮城県古川市千手寺町2-3-10		
15 石巻赤十字病院	放射線科 科長 殿		宮城県石巻市吉野町1-7-10		
16 公立刈田総合病院	放射線科 科長 殿		宮城県白石市福岡蔵本字下原沖36		
17 山形県立中央病院	放射線科 科長 殿		山形県山形市大字青柳1800		

18	財団法人 大原総合病院	放射線科 科長 殿		福岡県福岡市大町6-11		
19	財団法人 慈山会医学研究所付属坪井病院	放射線科 科長 殿		福岡県郡山市安積町長久保1-10-13		
20	独立行政法人 労働省健康福祉機構 福島労災病院	放射線科 科長 殿		福島県いわき市内郷綴町沼尻3		
21	茨城県立中央病院 ・茨城県地域がんセンター	放射線科 科長 殿		茨城県西茨城郡友部町鯉淵6528		
22	茨城県厚生農業協同組合連合会 総合病院土浦協同病院・ 茨城県地域がんセンター	放射線科 科長 殿		茨城県土浦市真鍋新町11-7		
23	筑波メディカルセンター病院 ・茨城県地域がんセンター	放射線科 科長 殿		茨城県つくば市天久保1-3-1		
24	株式会社日立製作所 日立総合病院 ・茨城県地域がんセンター	放射線科 科長 殿		茨城県日立市城南町2丁目1番1号		
25	栃木県立がんセンター	放射線科 科長 殿		栃木県宇都宮市陽南4-9-13		
26	群馬県立がんセンター	放射線科 科長 殿		群馬県太田市高林西町617-1		
27	独立行政法人 国立病院機構 西群馬病院	放射線科 科長 殿		群馬県渋川市金井2854		
28	埼玉県立がんセンター	放射線科 科長 殿		埼玉県北足立郡伊奈町小室818		
29	埼玉赤十字病院	放射線科 科長 殿		埼玉県埼玉市中央区上落合8-3-33		
30	埼玉医科大学病院	放射線科 科長 殿		入間郡毛呂山町毛呂本郷38番地		
31	千葉県がんセンター	放射線科 科長 殿		千葉県千葉市中央区仁戸名町666-2		
32	君津中央病院	放射線科 科長 殿		千葉県木更津市差桜井1010		
33	成田赤十字病院	放射線科 科長 殿		千葉県成田市飯田町90-1		
34	総合病院国保旭中央病院	放射線科 科長 殿		千葉県旭市イ1326		
35	独立行政法人 労働省健康福祉機構 千葉労災病院	放射線科 科長 殿		千葉県市原市辰巳台東2-16		
36	医療法人 鉄蕉会 亀田総合病院	放射線科 科長 殿		千葉県鴨川市東町929		

37	東京都立駒込病院	放射線科 科長 殿		東京都文京区駒込3-18-22		
38	財団法人 癌研究会附属病院	放射線科 科長 殿		東京都豊島区上池袋1-37-1		
39	日本赤十字社医療センター	放射線科 科長 殿		東京都渋谷区広尾4-1-22		
40	日本赤十字社東京都支部 武蔵野赤十字病院	放射線科 科長 殿		東京都武蔵野市境南町1-26-1		
41	日本大学医学部附属板橋病院	放射線科 科長 殿		東京都板橋区大谷口上町30-1		
42	日本医科大学付属多摩永山病院	放射線科 科長 殿		東京都多摩市永山1-7-1		
43	N T T 東日本関東病院	放射線科 科長 殿		東京都品川区東五反田5-9-22		
44	青梅市立総合病院	放射線科 科長 殿		東京都青梅市青梅4-16-15		
45	東京厚生年金病院	放射線科 科長 殿		新宿区津久戸町5-1		
46	東大和病院	放射線科 科長 殿		東京都東大和市南街1-13-12		
47	神奈川県立病院	放射線科 科長 殿		神奈川県横浜市区中尾1-1-2		
48	藤沢市民病院	放射線科 科長 殿		神奈川県藤沢市藤沢2-6-1		
49	新潟県立がんセンター新潟病院	放射線科 科長 殿		新潟県新潟市川岸町2-15-3		
50	富山県立中央病院	放射線科 科長 殿		富山県富山市西長江2-2-78		
51	石川県済生会金沢病院	放射線科 科長 殿		石川県金沢市赤土町二13-6		
52	福井県立病院	放射線科 科長 殿		福井県福井市四ツ井2-8-1		
53	福井県済生会病院	放射線科 科長 殿		福井県福井市和田中町船橋7-1		
54	福井赤十字病院	放射線科 科長 殿		福井県福井市月見2-4-1		
55	岐阜県立岐阜病院	放射線科 科長 殿		岐阜市野一色4-6-1		



56	大垣市民病院	放射線科	科長	殿	大垣市南瀬町4-86		
57	岐阜県立多治見病院	放射線科	科長	殿	多治見市前畑町5-161		
58	総合病院 高山赤十字病院	放射線科	科長	殿	高山市天満町3-11		
59	岐阜市民病院	放射線科	科長	殿	岐阜市鹿島町7-1		
60	医療法人厚生会 木次記念病院	放射線科	科長	殿	美濃加茂市古井町下古井590		
61	静岡県立静岡がんセンター	放射線科	科長	殿	静岡県駿東郡長泉町下長窪1007		
62	静岡県立総合病院	放射線科	科長	殿	静岡県岡崎市北安東4-27-1		
63	社団法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院	放射線科	科長	殿	静岡県浜松市三方原町3453		
64	社団法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院	放射線科	科長	殿	静岡県浜松市住吉2-12-12		
65	愛知県がんセンター	放射線科	科長	殿	愛知県名古屋市中区三の丸4-1-1		
66	独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター	放射線科	科長	殿	愛知県名古屋市東区東広畔28		
67	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院	放射線科	科長	殿	愛知県豊橋市青竹町字八間西50		
68	豊橋市民病院	放射線科	科長	殿	愛知県海部郡弥富町大字前ヶ須新 田字南本田396		
69	愛知県厚生農業協同組合連合会 海南病院	放射線科	科長	殿	小牧市常普請1-20		
70	小牧市民病院	放射線科	科長	殿	三重県久居市明神町2158-5		
71	独立行政法人 国立病院機構 三重中央医療センター	放射線科	科長	殿	三重県四日市市大字日永5450-132		
72	三重県立総合医療センター	放射線科	科長	殿	三重県度会郡御園村大字高向810		
73	山田赤十字病院	放射線科	科長	殿	三重県松阪市川井町字小望102		
74	三重県厚生農業協同組合連合会 松阪中央総合病院	放射線科	科長	殿			

75	大津赤十字病院	放射線科 科長 殿		滋賀県大津市長等1-1-35		
76	滋賀県立成人病センター	放射線科 科長 殿		滋賀県守山市守山5丁目4-30		
77	市立長浜病院	放射線科 科長 殿		滋賀県長浜市大成亥町313		
78	日本赤十字社和歌山医療センター	放射線科 科長 殿		和歌山県和歌山市小松原通4-20		
79	大阪府立成人病センター	放射線科 科長 殿		大阪府大阪市東成区中道1-3-3		
80	独立行政法人 労働者健康福祉機構 大阪労災病院	放射線科 科長 殿		大阪府堺市長曾根町1179-3		
81	市立豊中病院	放射線科 科長 殿		大阪府豊中市柴原町4-14-1		
82	市立岸和田市民病院	放射線科 科長 殿		大阪府岸和田市額原町1001		
83	社団法人全国社会保険協会連合会 星ヶ丘厚生年金病院	放射線科 科長 殿		大阪府枚方市星丘4-8-1		
84	独立行政法人 国立病院機構 大阪南医療センター	放射線科 科長 殿		大阪府河内長野市木戸東町2-1		
85	高槻赤十字病院	放射線科 科長 殿		大阪府高槻市阿武野1-1-1		
86	大阪赤十字病院	放射線科 科長 殿		大阪府大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-30		
87	大阪府立急性期・総合医療センター	放射線科 科長 殿		大阪府大阪市住吉区万代東3-1-56		
88	東大阪市立総合病院	放射線科 科長 殿		大阪府東大阪市西岩田3-4-5		
89	大阪市立総合医療センター	放射線科 科長 殿		大阪市都島区都島本通2丁目13番22号		
90	奈良県立医科大学附属病院	放射線科 科長 殿		奈良県橿原市四条町840番地		
91	鳥取県立厚生病院	放射線科 科長 殿		鳥取県倉吉市東昭和町150		
92	独立行政法人 国立病院機構 米子医療センター	放射線科 科長 殿		鳥取県米子市東尾4-17-1		
93	松江市立病院	放射線科 科長 殿		島根県松江市灘町101		

94	独立行政法人 国立病院機構 浜田医療センター	放射線科	科長 殿		島根県浜田市黒川町3748		
95	松江赤十字病院	放射線科	科長 殿		島根県松江市母衣町200番地		
96	島根大学医学部附属病院	放射線科	科長 殿		島根県出雲市塩治町89-1		
97	島根県立中央病院	放射線科	科長 殿		島根県出雲市姫原4-1-1		
98	益田赤十字病院	放射線科	科長 殿		島根県益田市尾乙吉町イ103-1		
99	岡山済生会総合病院	放射線科	科長 殿		岡山県岡山市伊福町1-17-18		
100	綜合病院岡山赤十字病院	放射線科	科長 殿		岡山県岡山市青江2-1-1		
101	財団法人 倉敷中央病院	放射線科	科長 殿		岡山県倉敷市美和1-1-1		
102	財団法人 津山慈風会 津山中央病院	放射線科	科長 殿		岡山県津山市川崎1756		
103	独立行政法人 国立病院機構 岩国医療センター	放射線科	科長 殿		山口県岩国市黒磯町2-5-1		
104	綜合病院社会保険徳山中央病院	放射線科	科長 殿		山口県周南市孝田町1-1		
105	山口県立中央病院	放射線科	科長 殿		山口県防府市大崎77		
106	山口県厚生農業協同組合連合会 周東総合病院	放射線科	科長 殿		山口県柳井市大字古開作1000-1		
107	徳島県立中央病院	放射線科	科長 殿		徳島県徳島市蔵本町1-10-3		
108	三豊総合病院	放射線科	科長 殿		香川県三豊郡豊浜町大字姫浜708		
109	香川県立中央病院	放射線科	科長 殿		香川県高松市番町5-4-16		
110	独立行政法人 国立病院機構 四国がんセンター	放射線科	科長 殿		愛媛県松山市堀之内13		
111	住友別子病院	放射線科	科長 殿		愛媛県新居浜市王子町3-1		
112	市立宇和島病院	放射線科	科長 殿		愛媛県宇和島市御殿町1-1		

113	高知中央病院	放射線科	科長 殿		高知県高知市桜井町2-7-33		
114	独立行政法人 国立病院機構 九州がんセンター	放射線科	科長 殿		福岡県福岡市南区野多目3-1-1		
115	北九州市立医療センター	放射線科	科長 殿		福岡県北九州市小倉北区馬借2-1-1		
116	飯塚病院	放射線科	科長 殿		福岡県飯塚市芳雄町3-83		
117	久留米大学病院	放射線科	科長 殿		福岡県久留米市旭町67		
118	独立行政法人 国立病院機構 福岡東医療センター	放射線科	科長 殿		福岡県古賀市千鳥1-1-1		
119	大牟田市立総合病院	放射線科	科長 殿		福岡県大牟田市宝坂町2-19-1		
120	公立八女総合病院	放射線科	科長 殿		福岡県八女市大字高塚540-2		
121	社会保険田川病院	放射線科	科長 殿		福岡県田川市上本町10-18		
122	佐賀県立病院好生館	放射線科	科長 殿		佐賀県佐賀市水ヶ江1-12-9		
123	佐世保市立総合病院	放射線科	科長 殿		長崎県佐世保市平瀬町9-3		
124	長崎市立市民病院	放射線科	科長 殿		長崎県長崎市新地町6-39		
125	日本赤十字社長崎原爆病院	放射線科	科長 殿		長崎県長崎市茂里町3-15		
126	独立行政法人 国立病院機構 長崎医療センター	放射線科	科長 殿		長崎県大村市久原2-1001-1		
127	熊本市立熊本市市民病院	放射線科	科長 殿		熊本市湖東1-1-60		
128	大分赤十字病院	放射線科	科長 殿		大分県大分市千代町2-2-37		
129	大分県立病院	放射線科	科長 殿		大分県大分市大字豊鏡476		
130	県立宮崎病院	放射線科	科長 殿		宮崎県宮崎市北高松町5-30		
131	県立日南病院	放射線科	科長 殿		宮崎県日南市木山1-9-5		